

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	大分県	事業実施主体	大分県 大分市	地域再生計画名	癒やしの里「のつはるまち」地域資源活用計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	大分県農林水産部 林務管理課長 高村秀樹、大分県大分市農林水産部長 藤田義明		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	中間実績	指標総数		達成数		
	指標1	森林主伐間伐面積の増加	2.2ha	R2	2.6ha	R4	0.0ha	3.0ha	R6	×	3	2	森林整備の遅れにより目標を達成していないが、全線開通による効果により次年度は計画に則した整備を目指していく。
	指標2	観光者数の増	14.7万人	R2	16.8万人	R4	23.5万人	17.0万人	R6	○	3	2	宇曾山荘の認知度が高まり、コロナウィルスの影響が減少したことにより、観光客数が増加したと考えられる。
	指標3	農林水産物の販売額	10,360万円	R2	1,000万円	R4	7,776万円	1,000万円	R6	○			中間目標値の実現状況は、実績が目標を大きく上回った。

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（R4）	最終実績見込み	

特別措置を適用して行う事業	林道入蔵大峠2号線整備事業	655m	(655m)	655m	令和5年3月までに暫定で全線開通をする。引き続き事業を実施し、令和5年度に完了する予定である。
	林道御座ヶ岳線整備事業	60m	52m(20m)	72m	令和4年度繰越工事で橋梁補修を行っており、引き続き、令和7年3月までに改良工事を完了する予定である。
	市道 竹ノ内泉線 整備事業	520m	520m	520m	R4年度をもって事業完了
	市道 竹の内三国境線 整備事業	1000m	680m	1000m	R4年度より工事発注、令和6年度事業完了予定。路線延長から見る進捗率は、68%であるが計画的に進んでいる。
	市道 尾原線 整備事業	1300m	1300m	1300m	R4年度をもって事業完了
	市道 高沢小原線 整備事業	1005m	1005m	1005m	R4年度をもって事業完了(舗装修繕400m、側溝改築605m)
	市道 入蔵線 整備事業	1300m	420m	1300m	R4年度より工事発注、令和6年度完了予定。路線延長から見る進捗率は、32%であるが計画的に進んでいる。
	市道 安友線 整備事業	70m	0m	70m	R5年度に委託及び工事発注、R6年度事業完了予定。路線延長から見る進捗率は、0%であるが計画的に進んでいる。
	市道 石合今市線 整備事業	500m	500m	500m	R4年度をもって事業完了
	市道 辻原線 整備事業	110m	110m	110m	R4年度をもって事業完了

その他の事業	地方創生拠点整備交付金事業	道の駅のつはるの整備（完成済）	完成済。
--------	---------------	-----------------	------

計画外で独自に実施した事業 (事業実施主体：大分市)	市単独事業 (道路・歩道・待機所・側溝整備)	地域住民の利便性向上と生活空間の安全確保のための道路・歩道・待機所・側溝整備	毎年要望に基づいて、道路幅幅や側溝改築等を実施しており、利用者への安全を図っている。
	市単独事業 (管理林道の未舗装路線整備)	管理林道のうち未舗装路線について、舗装等を実施することで利用者の運行の安全を図る。	管理林道の未舗装路線について、毎年度、舗装改良を実施しており、利用者の運行の安全を図っている。
	市単独事業 (のつはる天空広場の整備)	のつはる天空広場の整備	大分川ダム堤体を使用した土(コア材)を採取した山の跡地について、野津原地域の振興を目的に、音楽や農業イベントなどの交流の場として活用できる「のつはる天空広場」を整備した。令和2年3月本体工事完了。同年7月供用開始。
	電源立地地域対策交付金事業	芹川ダムの水力発電施設に係る道路整備	R2年度をもって事業完了
	森林セラピー魅力創出事業	森林資源を活用した市民の健康維持増進と地域資源を活用した里山地域の活性化並びに新たな観光資源の開発	個別案内プログラムの対象ロードを3ロードから9ロードに上げたが、昨年度より案内組数が減少した。今後は、SNSや広報誌の活用し、利用者数の増加を図る。
	おいいた産品創出・魅力発信事業	農林水産物品等の地域資源を活用した地域経済の活性化促進	大分市産(野津原産含む)にら、いちごを使用した新たな商品の研究開発や商品化、販路拡大等を支援する補助金の交付を行った。
	「ふれあい交通」運行事業	公共交通の利用が不便な地域の移動手段を確保し、バス利用の促進を図る	野津原地域では、令和3年度に地元の要望により新設した上石合ルートを加えて、現在5ルートを運行している。毎年、利用者のニーズを運行計画に反映させるとともに、地域に事業の周知を行い、継続的に利用促進に取り組んでいる。

③評価方法	学識経験者等の第三者の意見を踏まえ、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。(R5.8.31)
-------	--

④中間評価の公表方法	大分県・大分市のホームページに掲載。
------------	--------------------

⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、効率的な道路路網を構築することで、林業の活性化及び地域の豊富な観光資源をネットワーク化した観光拠点施設へのアクセス改善や地域住民との交流を図ることを目的としている。なお、指標2及び指標3は、ともに目標を達成しており、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。
------------	--

⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況	有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し (有・無)	
	令和6年度予算要望額への反映 (有・無)	
	有りの場合の増減額	千円

⑦今後の方針等に対する対応	特になし。
---------------	-------